

いい会社づくり PDCAワークショップ

～ 経営者(管理職)と社員が目的・目標を共有、共感し、
会社の「いいところ」をさらに伸ばし、「課題」を解決する ～



ワークショップのフレームと流れ

- わが社の「課題」を解決するためのプロセスです



- 課題の優先順位づけ→課題の現状把握→目的・目標の明確化→取組項目の設定
→PDCAでの実行のプロセスを踏むことが大切。P(計画)は取組項目を具体的に
どう実行していくのかを5W1Hで記載する

- 5W1H

「いつ」(When) 「どこで」(Where) 「誰が」(Who) 「何を」(What)
「なぜ」(Why) 「どのように」(How)



わが社の「いい会社度」を知る

深く考えず、客観的に「YES」「?」「NO」の3つに振り分ける。

POINT 深く考えず、客観的に3分類しましょう。



- わが社は実践できている
- わが社の自慢だな
- 社外の人から「さすがだね」と言われる

- わが社としてはちょっと自信がないかな

- わが社では実践していない
- わが社にはあてはまらない
- 社外の人から「いまいちだね」と言われる

わが社の「いい会社度」を知る

■カードを振り分けた後、点数を出し集計する。「いい会社度」に当てはめてみる

【いい会社度】

90点以上

「超」いい会社

(100年企業も夢ではない)

80点~89点

いい会社

(継続することができる)

60点~79点

準いい会社

(もう少しでいい会社)

40点~59点

努力が必要な会社

20点~39点

かなり努力が必要な会社

20点未満

このままだと本当に危ない会社

(短期間で消滅する可能性あり)

1. 「YES」のカードは何枚あるか？

2. 「？」のカードは何枚あるか？

【例】「YES」:25枚、「？」:10枚

⇒ 合計点数:50点+10点(加点)=60点 ⇒「準いい会社」

EX. 50点。「努力が必要な会社」にランク。欲張らず「準いい会社」を目指して着実に課題を克服する。まずはネックになっている「課題」を解決する。着実に点数を伸ばして社員に自信をつける。そうすれば社員の士気も上がる

EX. 65点。「準いい会社」にランク。「課題」を確実に解決する。社長と社員がその気になって一緒に取り組めば、必ず「いい会社」になれる。そうすれば社員に自信と誇りを持たせることができる。結果、会社の業績も上がり、末永く継続できる会社になれる

EX. 85点。「いい会社」にランクイン。80点を超える会社は50社に1社あるかないか。これまでの社長と社員の努力の賜物。しかし、ここで安心せずに100年企業を目指して、さらに、「いいところ」を磨き、取扱商品や業界においてNO. 1を目指す

●「いい会社」以上に該当した会社は、会社の「いいところ」のレベルアップをする

●「準いい会社」以下に該当した会社は、「課題」に優先順位をつけて解決する